

社会資本総合整備計画

熊谷市中心市街地地区のにぎわい再生

(熊 谷 市)

(第 1 回 変 更)

平成 29 年 1 月 25 日

埼 玉 県 熊 谷 市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成29年1月25日

計画の名称	熊谷市中心市街地のにぎわい再生										重点配分対象の該当																					
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）					交付対象	熊谷市																									
計画の目標	<p>熊谷市は、都心から50～70kmの距離に位置する面積159.88k㎡、人口20万人を超える埼玉県北部地域を代表する都市である。本地区は、市の中央エリアに位置しており、JR上越・北陸（長野）新幹線、JR高崎線、秩父鉄道の鉄道3線が乗り入れる熊谷駅を中心とした都市機能が集約された都市活動の中心地区であるが、近年、少子高齢化や地域経済の衰退等の社会情勢の変化や、市街地の空洞化等の都市問題の顕在化により、地域活力は減少の一途を辿っている。</p> <p>当計画では、埼玉県北部地域における「時代の『変化』」に対応し、人と施設が『成長』する創造拠点」として期待される北部地域振興交流拠点施設（仮称）の整備と、誰でも快適に生活・移動できるネットワークの構築と地区内の道路環境の改善及び良好な都市環境の整備を図ることにより、埼玉県北部地域の商業・産業活動の拠点として地域活力豊かなまちづくりと中心市街地における回遊性の向上及びにぎわいの再生を目指す。</p>																															
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 新規で整備される北部地域振興交流拠点施設（仮称）の利用者数を 0人/日（H25年度）から7,528人/日（H29年度）に増加 本事業を含めた定点における中心市街地の休日の歩行者・自転車通行量を 16,825人/日（H23年度）から19,331人/日（H28年度）に増加 																															
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> <tr> <th>(H23年度)</th> <th>(H27年度)</th> <th>(H29年度末) (H28年度末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北部地域振興交流拠点施設（仮称）の利用者数を計測する。</td> <td>0人/日</td> <td>0人/日</td> <td>7,528人/日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>休日の中心市街地における歩行者・自転車通行量を測定する。</td> <td>16,825人/日</td> <td>0人/日</td> <td>19,711人/日</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	(H23年度)	(H27年度)	(H29年度末) (H28年度末)	北部地域振興交流拠点施設（仮称）の利用者数を計測する。	0人/日	0人/日	7,528人/日		休日の中心市街地における歩行者・自転車通行量を測定する。	16,825人/日	0人/日	19,711人/日	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																												
	当初現況値	中間目標値	最終目標値																													
	(H23年度)	(H27年度)	(H29年度末) (H28年度末)																													
北部地域振興交流拠点施設（仮称）の利用者数を計測する。	0人/日	0人/日	7,528人/日																													
休日の中心市街地における歩行者・自転車通行量を測定する。	16,825人/日	0人/日	19,711人/日																													
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,941.4百万円	A	1,941.4百万円 <small>(うち提案事業分 9.4百万円)</small>	B	0.0百万円	C	0.0百万円	D	0.0百万円	効果促進事業費の割合 A(提案分)+C/(A+B+C)	0.5%																				
交付対象事業																																
A 基幹事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考															
									H25	H26	H27	H28	H29																			
1-A-1	住宅	一般	熊谷市	直接	熊谷市	北部地域振興交流拠点地区暮らし・にぎわい再生事業	A=8,152.88㎡	熊谷市						1,551.8																		
1-A-2	都市再生	一般	熊谷市	直接	熊谷市	熊谷市中心市街地地区都市再生整備計画事業	A=113ha	熊谷市						389.6																		
合計													1,941.4																			
B 関連社会資本整備事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考															
									H25	H26	H27	H28	H29																			
合計																																
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																				
C 効果促進事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																	
									H25	H26	H27	H28	H29																			
合計																																
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																				
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																	
									H25	H26	H27	H28	H29																			
合計																																
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																				

交付金の執行状況

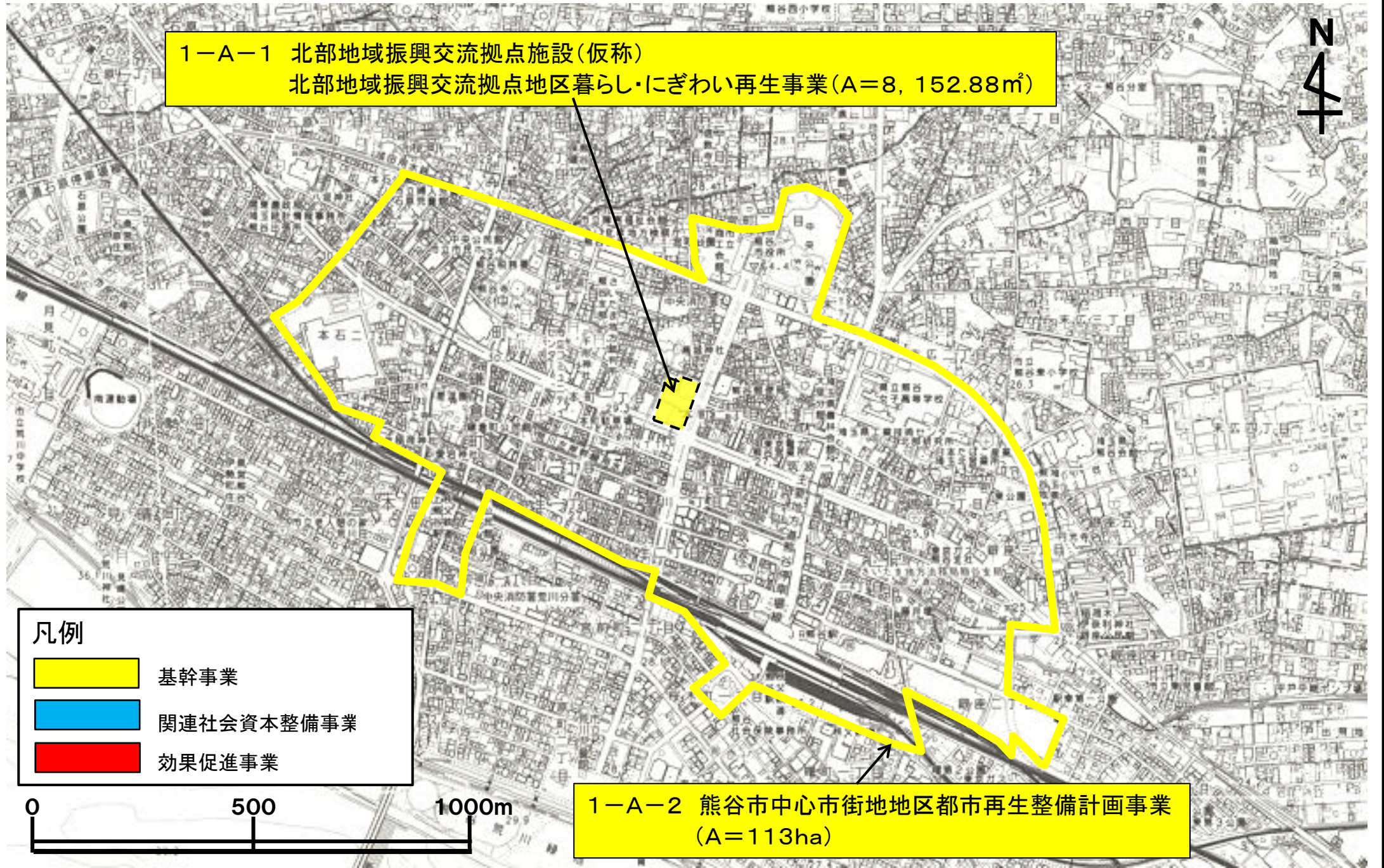
(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	0.0	10.0	129.9 (内補正予算76.0)	-	-
計画別流用 増△減額 (b)	0.0	0.0	0.0	-	-
交付額 (c=a+b)	0.0	10.0	129.9 (内補正予算76.0)	-	-
前年度からの繰越額 (d)	0.0	0.0	0.0	-	-
支払済額 (e)	0.0	10.0	0.0	-	-
翌年度繰越額 (f)	0.0	0.0	0.0	-	-
うち未契約繰越額 (g)	0.0	0.0	0.0	-	-
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0	0.0	0.0	-	-
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	-	-	-	-	-
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-	-	-	-

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

参考図面（社会資本整備総合交付金 市街地整備）

計画の名称	熊谷市中心市街地のにぎわいの再生		
計画の期間	平成25年度 ~ 平成29年度（5年間）	交付対象	熊谷市



社会資本総合整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

くまがやし ちゆうしん しがいち さいせい さいたま くまがやし
熊谷市中心市街地のにぎわい再生（埼玉県熊谷市）
（ 第 1 回 変 更 ）

(参考) 年次計画

(事業費:百万円)

基幹事業								
事業名	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
北部地域振興交流拠点地区暮らし・にぎわい再生事業	北部地域振興交流拠点地区	熊谷市	1551.8	117.8	143.4	1,004.5	150.6	135.5
熊谷市中心市街地地区都市再生整備計画	熊谷市中心市街地地区	熊谷市	389.6	6.5	0.0	25.3	357.8	0.0
計			1,941.4	124.3	143.4	1,029.8	508.4	135.5
関連社会資本整備事業								
事業名	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
効果促進事業								
事業名	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計			1,941.4	124.3	143.4	1,029.8	508.4	135.5
累計進捗率 (%)				6.4%	13.8%	66.8%	93.0%	100.0%

都市再生整備計画

くまがやしちゆうしんしがいちちく
熊谷市中心市街地地区

だい かい へんこう
(第1回変更)

さいたま くまがやし
埼玉県 熊谷市

平成29年1月

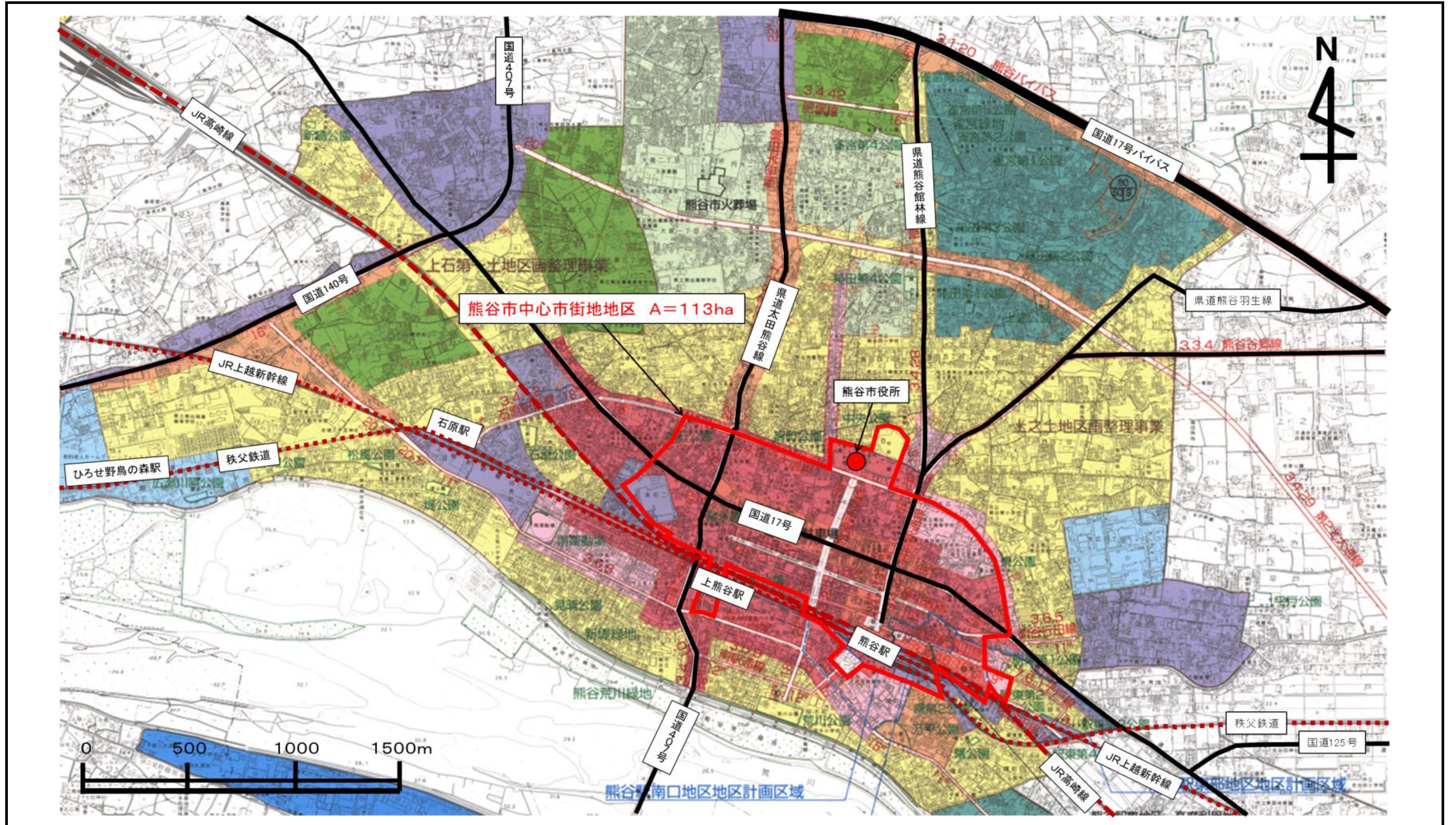
都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・整備方針1 道路環境の改善等により、誰でも安全・快適に移動できる道路環境・交通体系を構築し、交通利便性の高い都市環境を目指す。 ・熊谷駅周辺地区におけるバリアフリー環境整備の推進のため、熊谷駅周辺地区バリアフリー基本構想の策定を行う。 ・熊谷駅正面口交通広場及び周辺道路整備の方針指標として、交通シミュレーションを実施する。 ・交通バリアフリー特定経路の未整備区間となっている北大通線の一部区間について、歩道設置等の道路環境整備を実施する。 ・生活関連施設や文化施設等を結ぶネットワークの向上のため、市道80034号線の道路環境改善を行う。 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○バリアフリー環境整備促進事業(熊谷駅周辺地区バリアフリー基本構想策定事業) ○道路(北大通線道路環境整備事業) ○道路(市道80034号線道路環境整備事業) <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○まちづくり活動推進事業(熊谷駅正面口交通広場及び周辺道路整備方針策定事業)
<ul style="list-style-type: none"> ・整備方針2 生活関連施設や歴史・文化資源等を結ぶ歩行者及び自転車のネットワークを構築し、中心市街地の交流人口の増加とにぎわい再生を目指す。 ・北部地域振興交流拠点施設(仮称)の整備に併せ、生活関連施設等を結ぶネットワークの構築を進め、中心市街地内の回遊性を高める。 ・中心市街地内での歩行者及び自転車通行の安全性・快適性を高め、より回遊しやすいまちを目指す。 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道路(北大通線:自転車通行環境整備事業) <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○北部地域振興交流拠点地区暮らし・にぎわい再生事業(事業主体:熊谷市) ○熊谷市道路空間形成事業(事業主体:国)
<p>その他</p>	

都市再生整備計画の区域

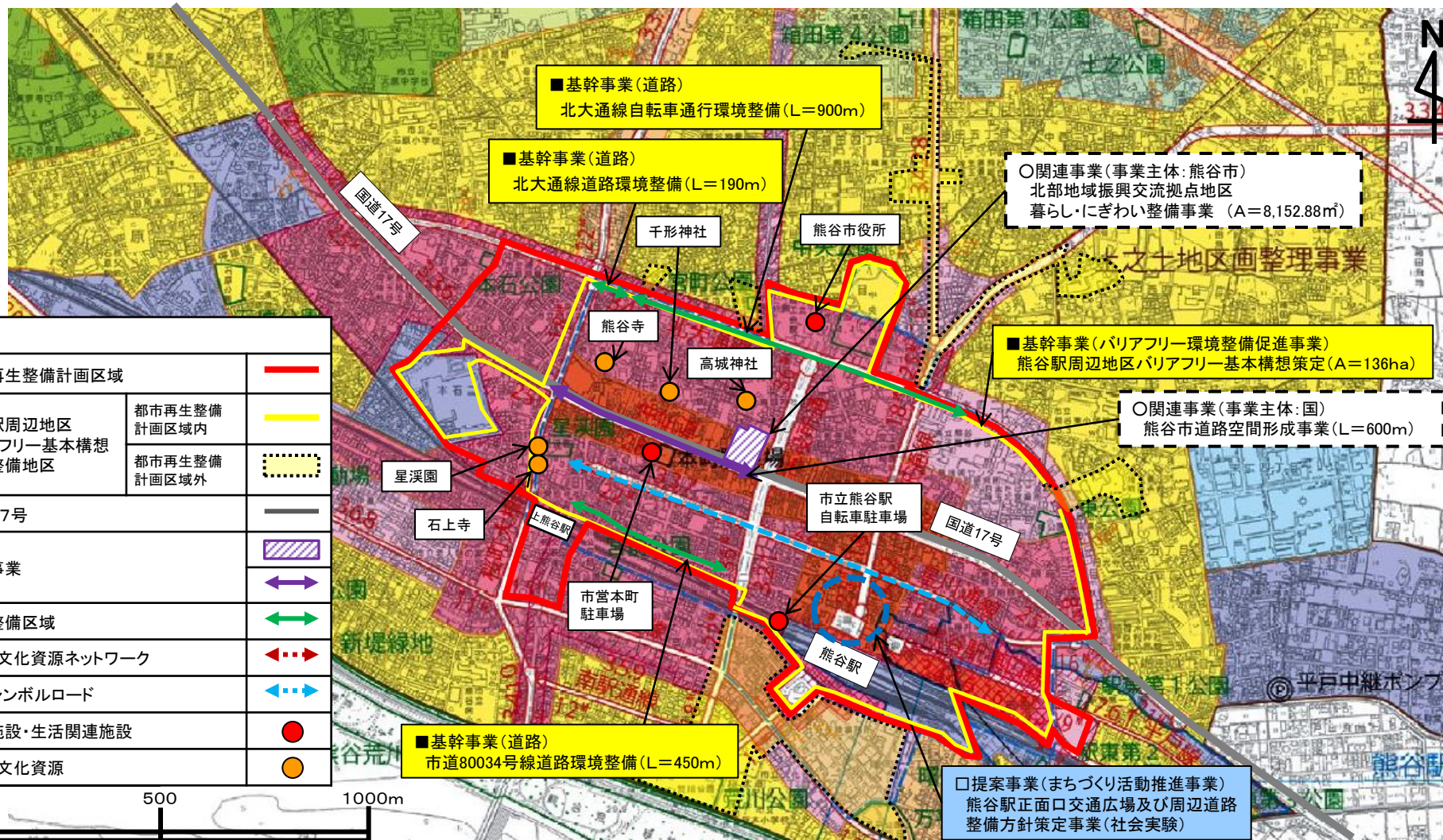
熊谷市中心市街地地区(埼玉県熊谷市)

面積	113 ha	区域	仲町、鎌倉町、本町1～2丁目、星川1～2丁目、弥生1～2丁目、筑波1～3丁目、銀座1丁目、桜木町1丁目の全部と本石1～2丁目、宮町1～2丁目、末広1～3丁目、銀座2～3丁目、曙町1丁目、万平町1丁目、宮前町2丁目の一部
----	--------	----	---

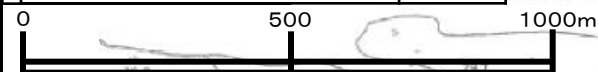


熊谷市中心市街地地区(埼玉県熊谷市) 整備方針概要図

目標	埼玉県北部地域の中核都市として環境にやさしく、暮らしやすく、魅力ある中心市街地を目指す	代表的な指標	歩行者・自転車通行環境の満足度 (%)	55 (21年度) →	58 (28年度)
			歩行者・自転車通行量(休日) (人)	16,825 (23年度) →	19,711 (28年度)
			()	(年度) →	(年度)



凡例		
都市再生整備計画区域	—	
熊谷駅周辺地区 バリアフリー基本構想 重点整備地区	都市再生整備計画区域内	—
	都市再生整備計画区域外	
国道17号		
関連事業		
	↔	
道路整備区域	↔	
歴史・文化資源ネットワーク	- - -	
星川シンボルロード	- - -	
文化施設・生活関連施設	●	
歴史・文化資源	●	



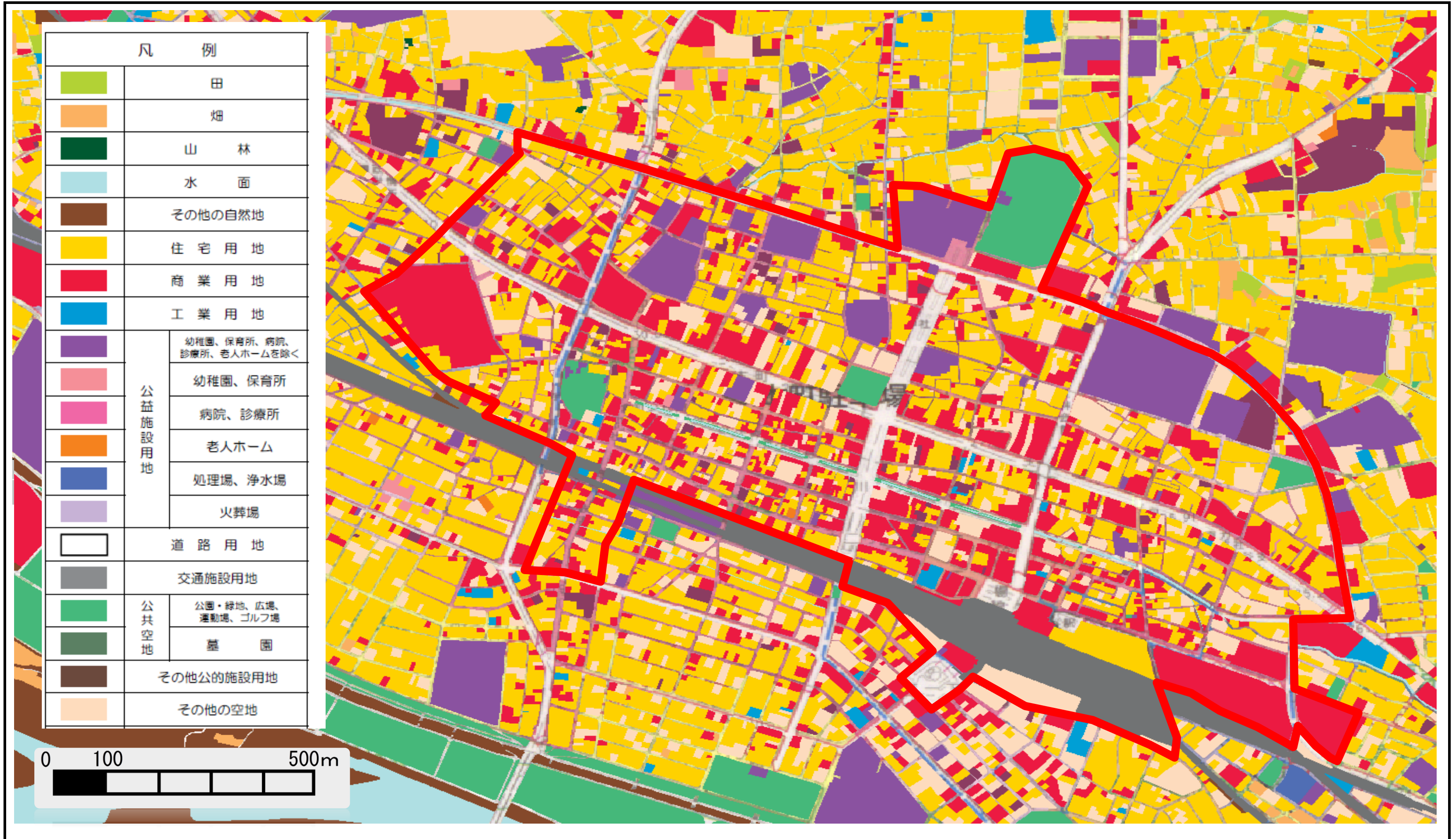
都市再生整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

くまがやし ちゅうしん しがいち ちく さいたま くまがやし
熊谷市中心市街地地区（埼玉県熊谷市）

（第1回変更）

熊谷市中心市街地地区(埼玉県熊谷市) 現況図



交付限度額算定表(その1)

熊谷市中心市街地地区 (埼玉県熊谷市)

要綱第Ⅲ編イ-10-(1)に掲げる式による交付限度額(X)	155.8 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	54,491.0 百万円	X≦Yゆえ、本計画における交付限度額	155.8 百万円
-------------------------------	-----------	-----------------------	--------------	--------------------	-----------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

Au	508,500 m ²
-----------	------------------------

公共施設の上限整備水準

区域面積(m ²)	1,130,000
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	
○ 区域の面積が10ha未満の地区	0.50
○ 最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45
○ その他の地域	0.40

Cl	627,500 円/m ²
-----------	--------------------------

単位面積あたりの標準的な用地費

標準地点数	3
公示価格の平均値(円/m ²)	152,300

単位面積あたりの標準的な補償費

当該区域内の戸数密度(戸/m ²)	0.003
標準補償費(円/戸)	44,000,000

Cf	23,000 円/m ²
-----------	-------------------------

控除額	0 百万円
------------	-------

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設

施設名(事業名)	面積(m ²)	国庫補助事業費等(百万円)
合計	0	0

要綱第5に掲げる式による限度額算定

<社会資本整備総合交付金>

交付対象事業費	基幹事業(A)	380.2 百万円
	提案事業(B)	9.4 百万円
	合計	389.6 百万円

Ap	340,963 m ²
-----------	------------------------

公共施設の現況整備水準

整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定	
推定現況整備水準(小数第2位まで)	
推定公共施設面積(m ²)	0

○ 個別公共施設の積み上げ

	面積(m ²)	割合
道路	333,178	0.29
公園	3,760	0
広場	0	0
緑地	4,025	0
公共施設合計	340,963	0.3

Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1)	54,491 百万円
----------------------	------------

ΣCn	0 円
------------	-----

下水道	0 円
区域面積(m ²)	1,130,000
うち現況の供用済み区域面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	3,600

地域交流センター等の公益施設(建築物)	0 円
上限床面積(m ²)	9,400
標準整備費(円/m ²)	532,300

調整池	0 円
調整池の容積(m ³)	
標準整備費(円/m ³)	140,000

河川	0 円
河川整備延長(m)	
標準整備費(円/m)	3,700,000

[1]式	$\alpha 1=4(A+B)/5=$	311.6
[2]式	$\alpha 2=10A/9=$	422.4
	交付限度額(X)	155.8 百万円

住宅施設	0 円
------	-----

建設予定戸数(戸)	超高層	
	一般	
	合計	0

標準整備費(円/戸)	超高層	一般	
	北海道特別地区	41,310,000	33,500,000
	北海道一般地区	38,190,000	30,990,000
	特別地区	49,120,000	35,690,000
	大都市地区	37,170,000	30,180,000
	多雪寒冷地区	41,510,000	32,370,000
	奄美地区	39,520,000	35,640,000
	沖縄地区	30,280,000	30,280,000
	一般地区	33,700,000	28,640,000

市街地再開発事業による施設建築物	0 円
------------------	-----

施設建築物の延べ面積(m ²)	
標準共同施設整備費(円/m ²)	132,000

電線共同溝等	0 円
--------	-----

電線共同溝等延長(m)	
標準整備費(円/m)	680,000

人工地盤	0 円
------	-----

人工地盤の延べ面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等	0 円
------------------	-----

大規模構造物等	協議状況	整備費(円)

Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2)	54,491 百万円
---------------------	------------

- 要綱第Ⅲ編イ-10-(1) 3)式の適用[提案事業2割拡充]
- 平成20年度二次補正予算の執行
- 要綱第Ⅲ編イ-10-(1) 4)式の適用[中活等の45%拡充]
- 要綱第Ⅲ編イ-10-(1) 5)式・6)式の適用[リノベ事業の50%拡充]

交付限度額算定表(その2)

熊谷市中心市街地地区 (埼玉県熊谷市)

要綱第Ⅲ編イ-10-(1)に掲げる式による限度額算定(詳細)

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(百万円単位)

単位:百万円

○交付対象事業費(必ず入力) (百万円) (百万円)

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	380.200	A (事業費)	1)式で求まる額(4/10*(A+B))	155.840	① (国費)
	提案事業合計(B)	9.400	B (事業費)	2)式で求まる額(5/9*A)	211.222	② (国費)
	合計(A+B)	389.600	(事業費)	上記①、②の小さい方	155.840	③ (国費)
	提案事業割合(B/(A+B))	0.025		国費率(③÷(A+B))	0.400	④ (国費率)

○拡充の有無

以下の3つの拡充のうち、いずれかの拡充がある場合は、該当する欄に○を記入し、事業費等を入力。

・3)式の適用[提案事業2割拡充]		(選択)	⇒	3)式で求まる額(5/8*A)	0.000	⑤ (国費)
・平成20年度二次補正予算の執行		(選択)		3)式の適用後(適用がある場合は3式反映)	155.840	⑥ (国費)
・4)式の適用[中活等の45%拡充]		(選択)		3)式適用後の国費率(⑥÷(A+B))	0.400	⑦ (国費率)

○拡充がある場合の事業費等

平成20年度二次補正の執行がある場合及び4)式の適用がある場合は、以下に事業費等を入力。

平成20年度二次補正 の執行がある場合	防災対象事業(A')		A' (事業費)	⇒	③をA'に置き換えた額(A⇒(A-A')+9/8*A')	155.840	⑧ (国費)
	補正予算の執行額		(国費)		執行額を足した額	155.840	⑨ (国費)
					補正適用後(上記⑧、⑨の小さい方)	155.840	⑩ (国費)
					補正適用後の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑪ (国費率)

4)式の適用を受ける 場合	計画の認定等の年度末までの執行 事業費(F)		F (事業費)	⇒	適用前の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑫ (国費率)
	適用対象となる交付対象事業費 (A''+B'')	0.000	(事業費)				
	適用対象となる基幹事業合計(A'')		A'' (事業費)	⇒	適用対象事業費から求まる限度額	0.000	⑬ (国費)
	適用対象となる提案事業合計(B'')		B'' (事業費)		適用後の国費率(⑬÷(A''+B''))	#DIV/0!	⑭ (国費率)
	適用対象事業のうち翌年度以降の 執行业業費(H)		H (事業費)		4)式適用後の限度額(⑫×F+⑭×H)	#DIV/0!	⑮ (国費)

※4)式の適用を受ける場合で、経過措置を適用しない場合(H21以降新規地区)は、Fの欄を記入せず、A''、B''を記入し、A''=A、B''=B、H=A''+B''=A+Bとなる。

↓

拡充も考慮した交付限度額	155.840	⑯ (国費)
--------------	---------	--------

○交付限度額、国費率の算出

交付対象事業費(A+B)	389.6	(事業費)	⇒	交付要綱第5に基づく交付限度額 (⑯を1万円の位を切り捨て)	155.8	⑰ (国費)
				国費率	0.400	⑱ (国費率)

道路

都市計画道路名 又はその他道路名	区間	道路 区分 <small>注1)</small>	事業 主体	事業 手法 <small>注2)</small>	工種	延長 m	幅員		整備後 車線数 車線	歩道 幅員 m	まち交 事業費 百万円	まち交における 事業期間 (年度)	事業内容 <small>注3)</small>	都市計画 決定 年月	備考 <small>注4)</small>
							整備前 m	整備 m							
<道路>				-											
北大通線	～	地	熊谷市	-	改良	190	18	//	2	両3.5	205.7	H27～H28	歩道設置、自転車通行帯	H20.1128	水路暗渠化
北大通線	～	地	熊谷市	-	改良	900	18	//	2	両3.5	20.5	H27・H28	自転車通行帯	H20.1128	
市道80034号線	～	地	熊谷市	-	改良	450	12	//	1	両1.75	147.5	H28	歩道拡幅、自転車通行帯	無	
	～			-											
	～			-											
	～			-											
	～			-											

(参考)

<関連事業>															
熊谷市道路空間形成事業		国	国	-	改良	600	28	//	4	両6.0	100	H26～H27	自転車通行環境整備、バリアフリー整備	無	自転車歩行者道内の自転車通行位置の明示

* 本調書にはア)交付対象事業「道路」(街路、地方道、国道、その他)、イ)関連事業道路のすべてを記載すること。

注1) <道路>については、街、地、国、他の別を記載。

<関連事業>については、国、主、一、市の別を記載。

ただし、街:街路、地:地方道(市町村道)、国:国道、主:主要地方道、一:一般都道府県道、市:市町村道、他:いずれにも該当しないもの

注2) <関連事業>について通、交、地特、単独、促の別等を記載。補足説明すべき点は備考欄に説明を記載。

注3) 施設の構造、工法、及び地方道事業においては細工種、街路事業においては沿道区画整理型街路事業等の事業名

注4) 備考には現在の道路状況を把握するために必要なその他の事項で、交通量(人/日)、混雑度等を記載

(例)・道路改築:交通量(人/日)、混雑度等

・自転車駐車場:都市計画決定の有無、面積、利用台数等

* 交付対象事業「道路」を「身近なまちづくり支援街路事業」等のいわゆるグレードアップ事業として実施する場合は、それらの計画様式を次頁以降に添付すること。

* 不足する場合は適宜行を追加すること

道路(北大通線) 概要

事業名：北大通線道路環境整備事業

事業箇所：北大通線

規模：L=190m

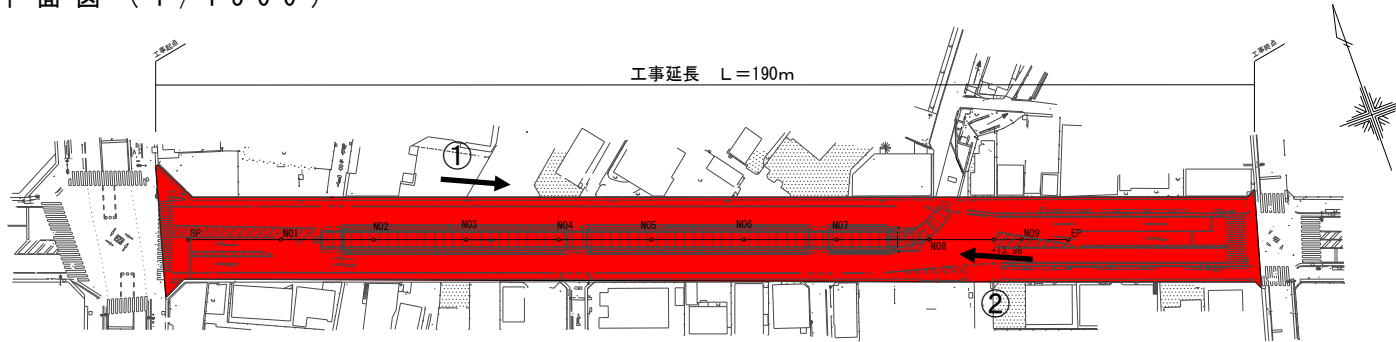
実施期間：H27～H28

事業費：205.7百万円

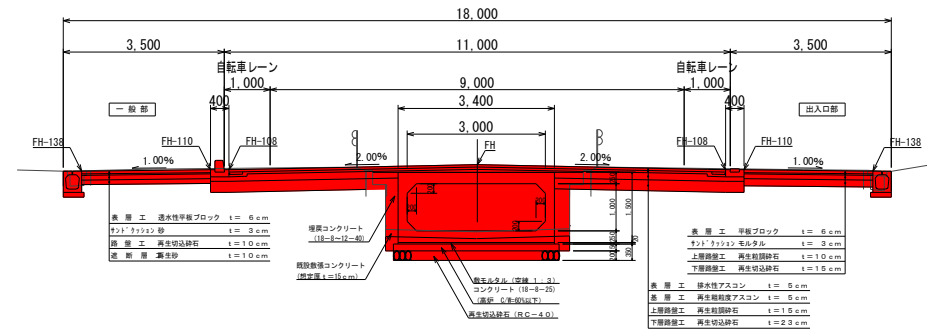
事業内容：水路暗渠化、歩道整備、バリアフリー化、自転車通行環境整備

概要：現在、開渠となっている水路(道路及び生活排水)を、暗渠化(ボックスカルバート)し、歩道設置、バリアフリー化及び自転車通行帯(路面標示)を整備する。

平面図 (1/1500)



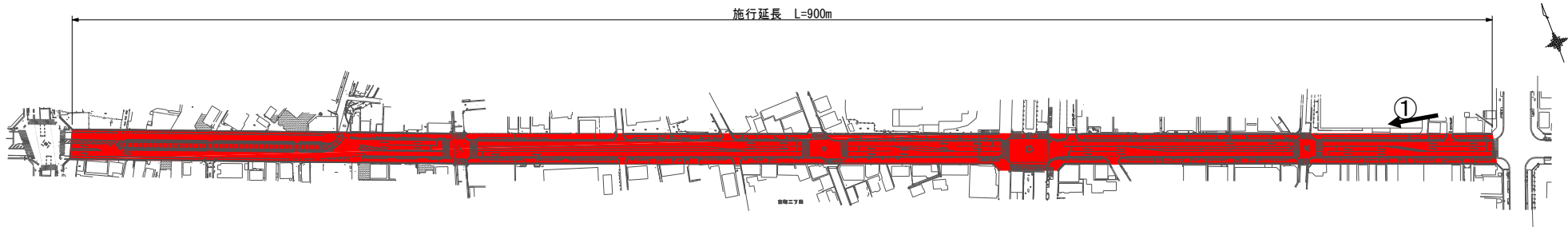
標準横断面図 (1/150)



道路(北大通線) 概要

事業名：北大通線自転車通行環境整備事業
事業箇所：北大通線
規模：L=900m
実施期間：H27・H28
総事業費：20.5百万円
事業内容：自転車通行環境整備
概要：現道の停車帯を利用し、自転車通行帯(路面標示)を設置する。

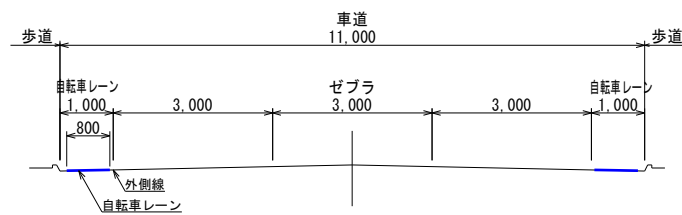
平面図



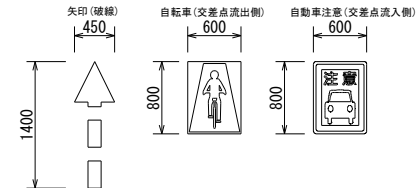
①



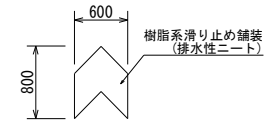
標準横断面図



ピクトグラム詳細図



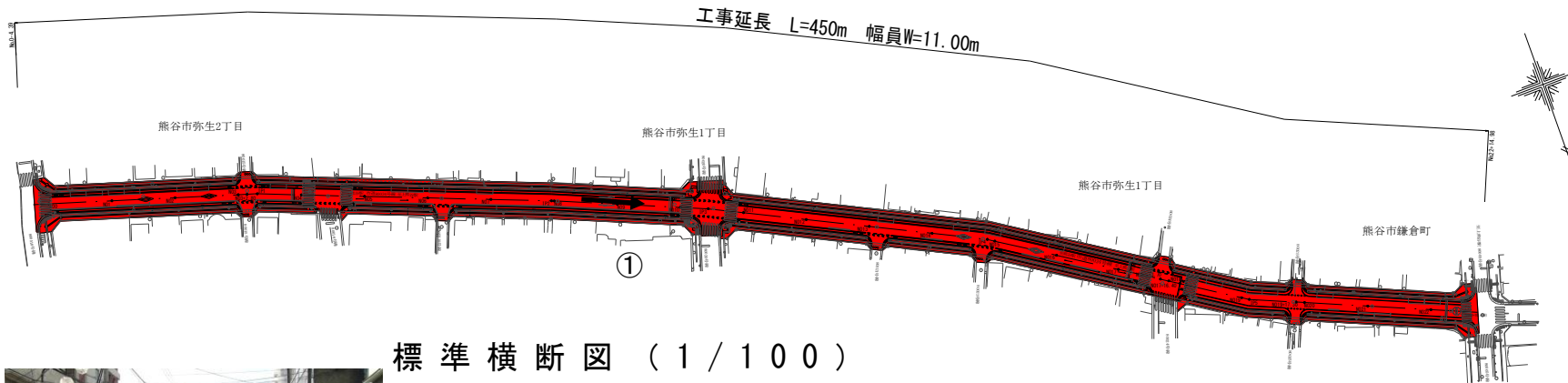
矢羽根詳細図



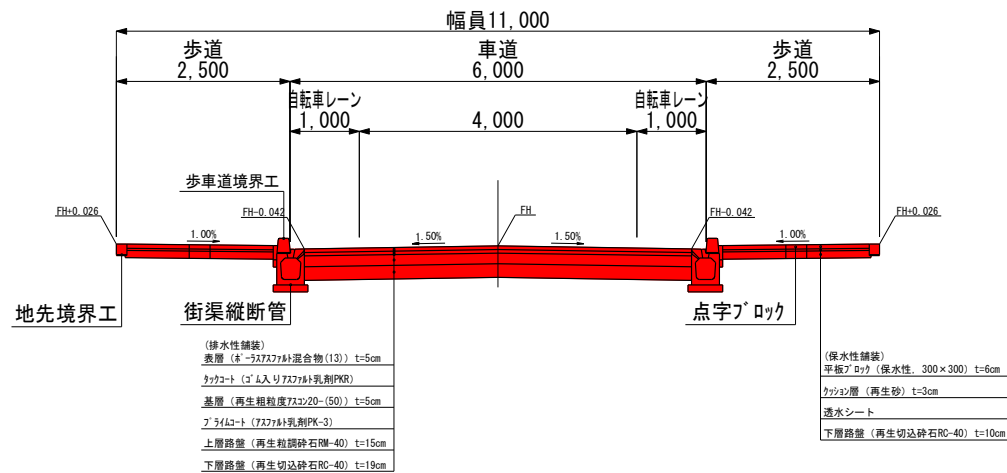
道路(市道80034号線) 概要

事業名：市道80034号線道路環境整備事業
 事業箇所：市道80034号線
 規模：L=450m
 実施期間：H28
 事業費：147.5百万円
 事業内容：歩道拡幅、バリアフリー化、自転車通行環境整備
 概要：歩道を拡幅し、バリアフリー化及び自転車通行帯(路面標示)を整備する。

平面図 (1 / 2000)



標準横断図 (1 / 100)



バリアフリー環境整備促進事業

(1) 地区概要

地区名	熊谷駅周辺地区	地区面積	136 ha
所在地			
事業期間	整備計画作成 ~ 年度	移動ネットワークの整備 ~ 年度	
	基本構想作成 <input checked="" type="checkbox"/> 予定 <input type="checkbox"/> 済	平成 25 年度	
総事業費	0.073 億円		
まち交事業費	0.065 億円		
地区の特性	<input type="checkbox"/> 福祉活動拠点地区 <input type="checkbox"/> 行政サービス地区 <input checked="" type="checkbox"/> 駅前地区 <input checked="" type="checkbox"/> 商業・業務地区 <input type="checkbox"/> 住宅地区 <input type="checkbox"/> 35DID地区(昭35年人口集中地区) <input type="checkbox"/> その他()		

(2) 採択要件

地区要件	<input type="checkbox"/> 三大都市圏 <input checked="" type="checkbox"/> 人口5万人以上の都市 <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業等の実施都市 ① <input type="checkbox"/> すこやかで活力あるまちづくり基本計画策定・普及啓発推進事業 <input type="checkbox"/> バリアフリーのまちづくり活動事業 <input type="checkbox"/> 上記に準ずる事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 一定の条件を満たす中心市街地活性化基本計画作成区域 ② <input type="checkbox"/> 公共的特定建築物等整備(予定)地区で、高齢者等の快適かつ安全移動確保の必要性が高い区域
------	---

(3) 移動ネットワークの整備内容

<input type="checkbox"/> 人工地盤等 <input type="checkbox"/> エレベーター <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 身体障害者用駐車施設 <input type="checkbox"/> パブリックスペース等 内容を具体的に	<input type="checkbox"/> 動く通路 <input type="checkbox"/> エスカレーター <input type="checkbox"/> 移動案内装置 <input checked="" type="checkbox"/> その他 内容を具体的に 旧交通バリアフリー法に基づく「熊谷市交通バリアフリー基本構想」から、新バリアフリー法に基づく基本構想へ再策定を行う。
---	--

(4) 関連する事業の概要

事業名	事業概要	本事業との関連性
(厚労省事業との関連)		
(交通安全事業との関連)		
(その他事業との関連)		

バリアフリー(基本構想策定事業) 概要

事業名：熊谷駅周辺地区バリアフリー基本構想策定事業

事業箇所：熊谷駅周辺地区

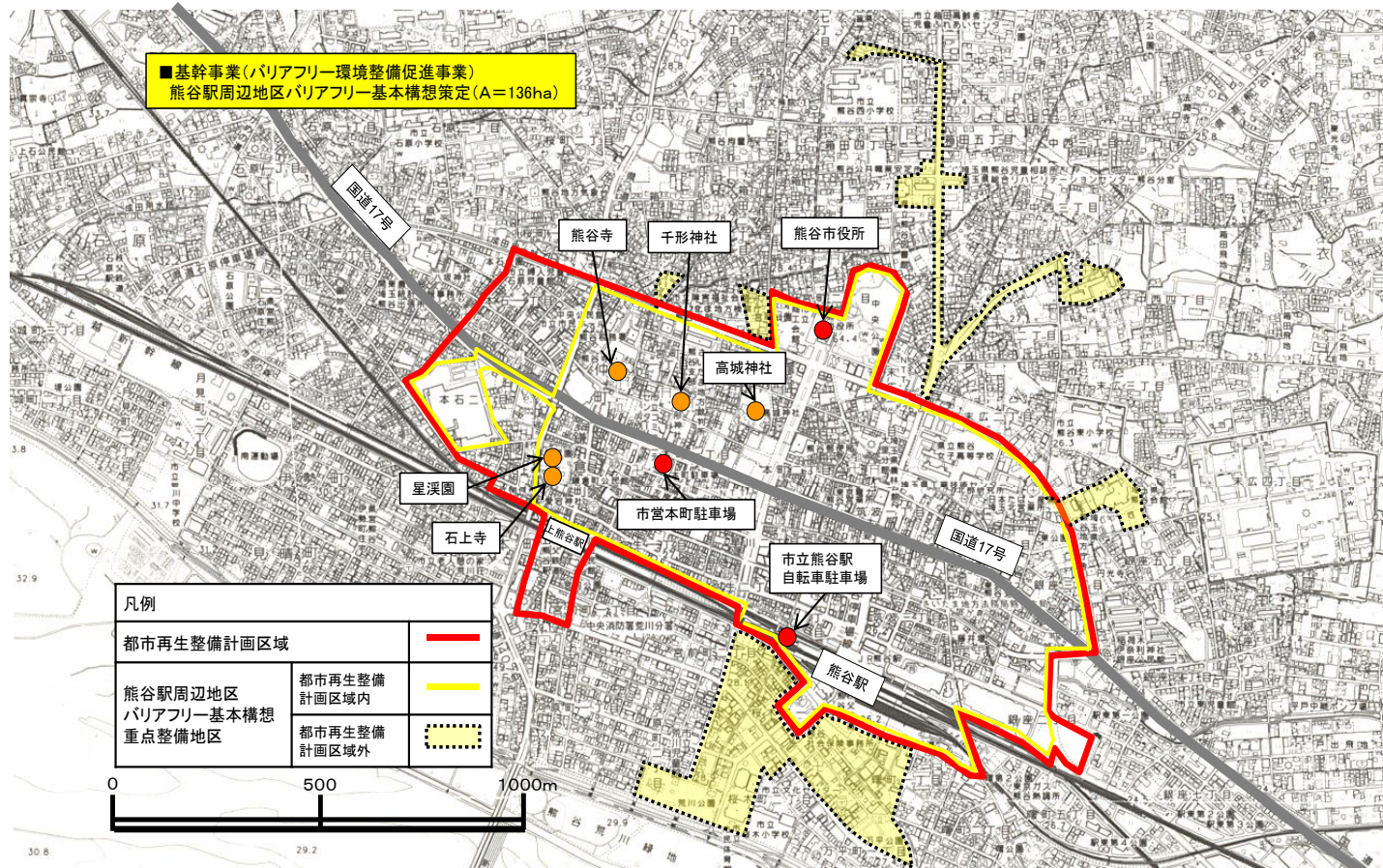
規模：A=136ha

事業期間：H25

事業費：7.3百万円(うち、交付対象事業費6.5百万円)

事業内容：バリアフリー基本構想の策定

概要：熊谷駅を中心とする市街地において、バリアフリー法に基づき基本構想を策定する。



まちづくり活動推進事業(熊谷駅正面口交通広場及び周辺道路整備方針策定) 概要

事業名：熊谷駅正面口交通広場及び周辺道路整備方針策定事業

事業箇所：熊谷駅正面口周辺

規模：-

実施期間：H27

事業費：9.4百万円

事業内容：交通シミュレーションによる交通解析

概要：熊谷駅正面口駅前広場及び周辺道路整備の方針指標として、交通シミュレーションによる交通解析を行う。

